

平成30年10月24日
愛媛大学

「中国復旦大学との教育・学術的なインターンシップ —本学学生の学芸員資格取得に寄与する取組—」

公開授業を開催します

愛媛大学教育改革促進事業（愛大教育改革GP）「中国復旦大学との教育・学術的なインターンシップ—本学学生の学芸員資格取得に寄与する取組—」の一環として、11月1日（木）～5日（月）にかけて、法文学部と学術交流協定を結んでいる中国・上海の復旦大学文物博物館学部の呂静教授一行（教員2名、院生1名、学部生3名）が愛媛大学を訪問し、埋蔵文化財調査室・愛大ミュージアム・東アジア古代鉄文化研究センターにおいてインターンシップを実施する他、愛媛大学「資料学」研究会公開講演会に出席します。

この一環として、呂静教授の公開授業を、下記の通り実施します。内容は中国の歴史学・文化人類学・考古学・博物館学等に関する最新の研究成果を紹介していただく興味深いものです。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：平成30年11月2日（金） 10時20分～11時50分

場 所：愛媛大学 総合教育棟1 305教室

対 象：中国の歴史学・考古学・文化人類学・博物館学等に関心を持つ学生・一般人
講義題目：「中国の民俗—祭日と年中行事」

* 講義は日本語で行われます。

* 聴講ご希望の方は、直接教室へおいでください。

定 員：100人

参加費：無料

駐車場：無

本件に関する問い合わせ先

法文学部人文社会学科 教授 高橋弘臣

TEL：089-927-9327

Mail：takahashi.hiroomi.mg@ehime-u.ac.jp

※送付資料3枚（本紙を含む）

○平成 30 年度愛媛大学教育改革促進事業（愛大教育改革G P）「中国復旦大学との教育・学術的なインターンシップー本学学生の学芸員資格取得に寄与する取組ー」概要

・愛媛大学法文学部との間に学術交流協定（2014 年 9 月～）を締結している中国・上海の復旦大学文物博物館学部（文物与博物館系）と連携し、相互交流型のインターンシップを実施する。「派遣」事業については、愛媛大学グローバル人材育成事業「学生海外派遣（短期）プログラム」により、本学学生を復旦大学に短期派遣して相互の学生交流を行う。

・それと対をなす本事業については、「愛大教育改革G P」により復旦大学側の学生・教員を短期的に受け入れ、法文学部・埋蔵文化財調査室・ミュージアム・東アジア古代鉄文化研究センター等が協力し、歴史学・考古学、博物館学領域にまたがる組織横断型のインターンシップを行う。

・具体的には、愛媛大学の学生がインターンシップとして、復旦大学の学生とともに、大学内や県内の博物館施設において実習を行う。さらに、復旦大学の教員による研究発表会や専門的な講義を実施することで、インターンシップの実質化を図り、愛媛大学学生（文系・理系双方）の深い専門的知識（主に学芸員資格取得の分野）と国際的視野を養う。今回の呂静教授の公開授業はこれらの一環である。

○復旦大学文物博物館学部との交流

・愛媛大学法文学部で歴史を研究する教員が中心となって、2001 年に愛媛大学「資料学」研究会を立ち上げ、現在に至るまで 18 年間にわたって活動を継続している。本研究会が国際的な共同研究を進めていく中で、復旦大学文物博物館学部との交流が活発化し、2014 年 9 月に愛媛大学法文学部との間で学術交流協定が締結され、以後相互交流を推進している。

・具体的には復旦大学文物博物館学部の教員・学生が愛媛大学を訪問し、埋蔵文化財調査室・愛大ミュージアム・東アジア古代鉄文化研究センターの他、県内の博物館施設・遺跡等でインターンシップを実施している。また教員による公開授業・「資料学」研究会での講演等を実施している。

・一方、愛媛大学の教員・学生が復旦大学を訪問し、講演を行うとともに、上海市内や近辺の博物館・遺跡等でインターンシップを実施している。

・協定締結後の交流の状況は以下の通り。

2015 年 11 月 27 日～12 月 5 日	復旦大学の教員 2 名・学生 6 名が愛媛大学を訪問、 潘碧華氏が「資料学」研究会講演会で講演
2016 年 1 月 4 日～ 1 月 8 日	愛媛大学の教員 2 名・学生 5 名が復旦大学を訪問、 幸泉満夫氏が講演
2016 年 11 月 4 日～11 月 7 日	国際連携G Pの一環として、復旦大学の教員 2 名・ 学生 4 名が愛媛大学を訪問、呂静氏が「資料学」研 究会講演会で講演
2016 年 11 月 28 日～12 月 2 日	国際連携G Pの一環として、愛媛大学の教員 2 名・ 学生 6 名が復旦大学を訪問、三吉秀充氏が講演

2017年 9月 25日～9月 29日	学生海外派遣（短期）プログラム（グローバル人材育成事業）の一環として、愛媛大学の教員2名・学生6名が復旦大学を訪問、笹田朋孝氏が講演
2017年 10月 20日～10月 24日	愛大教育改革GPの一環として、復旦大学の教員2名・学生4名が愛媛大学を訪問、兪蕙氏が「資料学」研究会講演会で講演、呂静氏が公開授業を実施
2018年 9月 21日～ 9月 24日	学生海外派遣（短期）プログラム（グローバル人材育成事業）の一環として、愛媛大学の教員2名・学生6名が復旦大学を訪問、徳田明仁氏が講演。
2018年 11月 1日～11月 5日	愛大教育改革GPの一環として、復旦大学の教員2名・学生4名が愛媛大学を訪問、石鼎氏が「資料学」研究会講演会で講演、呂静氏が公開授業を実施する予定。

- ・交流に参加した日中双方の学生たちの中には、相互に相手の訪問を歓迎しあい、ともに学び高めあうという好循環ができており、それによって日中両国の真の理解に結びつく専門的知識と国際的視野を持った人材の育成に寄与している。
- ・交流に参加した本学学生で、昨年度卒業・修了した学生を見ても、学芸員1名、大学員への進学3名という実績を残している。

○復旦大学文物博物館学部（文物与博物館学系）の概要

- ・復旦大学は1905年、中国上海市に創立された国立大学であり、1954年には中華人民共和国政府により国家重点大学として指定された。1984年に設置された文物与博物館学系は、当該分野としては中国国内で最も歴史が長く、影響力のある学部の1つであり、本科（学部）・碩士（修士課程）・博士（博士課程）から構成されている。
- ・学科の教育は主に博物館学・考古学・文化遺産・文物保護の方面に分かれており、今日までに送り出した卒業生の多くは全国各地の政府文物管理機構や博物館、考古学研究所、出入国管理機関など、様々な分野で活躍。また本学部には、復旦大学歴史文物博物館・文物保護実験室・図書資料室などの附属施設も備わっている。
- ・さらに毎年各国の研究者・教育者を招聘し、各種の学会と講演会を開催して国際交流を進めるとともに、これまでアメリカ・カナダ・イギリス・日本・台湾・香港の著名な大学や大英博物館・スミソニアン博物館などと交流協定を結んでいる。

○今回授業を担当される呂静教授の紹介

- ・上海出身。復旦大学歴史系本科卒業、碩士研究生修了。東京大学大学院に留学、2002年博士の学位取得。上海社会科学院歴史研究所研究員、東京大学東洋文化研究所客員研究員等を経て、現在復旦大学文物博物館学部教授。専門分野は中国古代史・博物館学。